

令和6年度 第3回 国道169号 下北山村上池原地区

防災対策検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和6年6月26日(水) 18:00~
2 場所 : 国土交通省奈良国道事務所4階 第一会議室(対面、オンライン会議併用)
3 出席者 :

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	橋本 涼太
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所長	伊藤 努
委員	奈良県県土マネジメント部次長(技術担当)	安井 広之

4 議事

- (1) 地質調査結果
(2) 本格復旧案の検討
(3) 質疑・意見交換

(議事)

(1) 地質調査結果

○被災箇所について、

- ・浅層に強風化帯が判明、崩壊危険度が最も高い
- ・深層に緩み域が判明、深層崩壊の危険性があり、当該緩み域と近接する変動斜面を一体の土塊として取り扱う必要がある
- ・浅層の強風化帯の対策に加え、深層の緩み域も併せて対策を検討する必要があることを確認した。

○被災箇所周辺の調査箇所(3箇所)について、緩み域(層厚25~40m)が判明し、深層崩壊の危険性があるが、直ちに崩壊する危険性が低く、対策の必要性は無いが継続的な監視の必要があることを確認した。

○国道169号全線にわたり地すべりや重力性変形に伴う緩み地形が存在する。

(2) 本格復旧案の検討

○本格復旧案として、原位置復旧、別線(ダム湖側)橋梁、別線(山側)トンネルについて、施工の難易度、施工安全性、維持管理、工期及び経済性で比較検討した結果、別線(山側)トンネルが優位との結果であった。

以上